

# 馬毛島基地（仮称）建設事業の工期延長に伴う 各種団体等からの意見

調査期間：令和6年10月15日（火）～11月19日（火）

調査方法：市各課による関係団体等へのヒアリング等

調査団体：44団体（うち回答ありの31団体）

※同一意見については、集約しています。

## 1 住民生活への影響

### (1) 住宅

- ① I ターン希望するが、転居先の世帯向け住宅がない。
- ② 貸家物件の不足。
- ③ 家賃の相場が高くなっている。
- ④ 一軒に複数の工事従事者が同居しているが、入れ替わりが頻繁にある。
- ⑤ 夜中の帰宅や早朝の出発が頻繁である。
- ⑥ 住宅不足や家賃高騰で、従業員の初期投資費用がかかる。
- ⑦ 馬毛関係に貸すからすぐ出てくれと言われ、転居先が見つからず困っている。
- ⑧ どこでも建ち続けているコンテナハウスは異様な状況で、ほとんど使われていないものもあるように思う。
- ⑨ 個人家、コンテナハウスも空きがでてきている。
- ⑩ 世帯向けの住宅不足。
- ⑪ 区営住宅1棟のみ。馬毛島関係者が入居。
- ⑫ 校区では、5件ほど馬毛島関連に貸している状況。
- ⑬ 住吉ビレッジ、10月完成予定。
- ⑭ 高賃で、助かっている。
- ⑮ コンテナホテルは空調が悪くカビが生えやすいと聞く。
- ⑯ 校区内にコンテナ住宅は建設されておりません。
- ⑰ 貸家物件の不足や家賃の相場が高くなっていることが、さらに長引く。

### (2) ごみ処理

- ① ごみの量は増加している。
- ② 地域でごみの分別のトラブルがあると聞いている。
- ③ 当初は曜日時間等がルーズであったが、現在はルールは守られている。
- ④ 少量だが、市の指定袋に入れずに出している。
- ⑤ 皆さん、自治会に入ってルールを守っている。
- ⑥ ごみ処理については、ルール無視の状況も見られ、地域内の環境美化が保たれないと危惧される。
- ⑦ 馬毛島関係のごみ処理費用はどうなっているのか。

### (3) 医療

- ① 会社が必要とする健診数が増えている。
- ② 工事関係者の事故が多く救急患者は増えている。
- ③ 予約が取りづらくなっている。
- ④ 診療予約をしても、1ヶ月先まで予約が取れない。
- ⑤ 病院での待ち時間が長い。
- ⑥ 工事事業者の労務管理や健康管理はしっかりなされているのか。
- ⑦ 診療予約が取れない状況が、今後も続く。
- ⑧ 馬毛島関係をきっかけに、良い総合病院を作してほしい。

#### (4) 交通安全

- ①交通や様々な面でマナーの悪さが目立ってきている。
- ②市街地で、広がって歩く方が増え、車運転時注意する必要がある。
- ③交通量は増加しているが、子どもたちの登下校時が心配。
- ④合同庁舎からわかさ公園までの信号がなかなか動かず、特に朝はとても迷惑である。
- ⑤朝夕は特に多く、渋滞が続く。解消されない。
- ⑥西町東町の国道を法定速度を守らず走る「わ」ナンバー、「他県」ナンバー車が多い。それに、右側駐車したりして危険である。
- ⑦大型車等工事関係車両のスピードの出しすぎや信号無視など、交通ルールが守られていない。
- ⑧国道県道以外の細い一般道に作業員送迎バスが通行しているが危険なためやめてもらいたい。
- ⑨交通誘導員がもう少し積極的に指導してほしい。
- ⑩交通誘導をスムーズに行っていたらいい。
- ⑪（交通誘導員の配置は）安全面には、大変良い。
- ⑫交通誘導員が配置されているので、安心できる。
- ⑬大型車の威圧感が負担になる。
- ⑭交通誘導員は継続してほしい。
- ⑮交通量の増加など校区内では特にない。
- ⑯工事車両の往来がさらに増えることが予想されるため、事故等も増えるのではないかと。

#### (5) 駐車場問題

- ①年末に向けて駐車場不足が拡大する。
- ②常に混雑の状況にあり、駐車スペースがない。
- ③西之表港の駐車場の混雑具合はひどい。停める場所がなくてすごいところに駐車している。どうにかできないか。
- ④市街地周辺の駐車場が不足している。
- ⑤駐車場不足が長引く。

#### (6) 治安

- ①今のところ、トラブルなし。
- ②夜のトラブルを耳にする。
- ③治安が悪くならない様、パトロール強化。
- ④周りに空き家が増え夜になると怖い。夜中の騒音・恐怖。

## 2 産業への影響

### (1) 人材不足

- ①市内の従業員が待遇の良い馬毛島関連事業へ流れている。
- ②人員は補充しているが馬毛島工事関連業者への転職者が多く人員を維持できていない。
- ③人材流出に歯止めをかけるため、今年度、一昨年度とも賃上率を例年よりも大幅に上昇させているが、物価高も伴い効果があるのか疑問。
- ④馬毛島工事に人手が取られないために、今の従業員の賃金を同等ぐらいまで上げている。景気が悪いのに経費だけがかかってしまい、今後の経営継続が困難になってきている。
- ⑤人を雇用したいと思っても馬毛島工事に関する賃金が高く、募集しても集まらない。
- ⑥大工、左官業者において、馬毛島工事を優先しており、地元からの発注業務の遅延がある。
- ⑦馬毛島への人材流出は男性が多いと思っていたが、お弁当等、惣菜作りであったり、女性も流出している。介護職等からの流出もあり介護事業所が廃業となったとも聞く。

- ⑧人材不足に関して今のところ直接的な事はない。
- ⑨全国的なことだが人材不足である。外国人雇用を検討している。
- ⑩賃金の格差により人手不足がさらに続く。

## (2) 観光関連

- ①ホテルは、かなり前から予約を入れないと取れない状況。
- ②宿舎（ホテル等）やレンタカーが不足して、島外の者が困っている。
- ③仕事、観光、里帰りなど、来島してもホテル、旅館がとれない。
- ④種子島でカーシェアが始まっている。
- ⑤出張する際の高速船がとりにくい。
- ⑥宿泊場所の確保が困難であり、大会の誘致・開催ができない。
- ⑦問合せいただいた団体で合宿に前向きであったが、宿泊場所が確保できずに断念するケースが多い。
- ⑧大会の誘致・開催が困難な期間が長引く。
- ⑨特産品（物産）も廃業を検討している事業者がいる。
- ⑩馬毛島の工事延長により、旅行事業者など種子島に目を向けることができなくなり、観光的にはこれまで以上に厳しい状況となる。観光の火を消さない取り組みが必要。
- ⑪馬毛島の宿舎ができると市内ホテル等の借上げがなくなるのでは。
- ⑫イベントに対する協力がある。
- ⑬現在、中、南種子の宿泊所を利用しているが、一般の人たちが宿泊できるホテルを確保してほしい。
- ⑭馬毛島関連作業員のマイクロツーリズムは、作業員も仕事で疲れており期待できない。（体育館でトレーニング、釣りをする作業員が多い。）

## (3) 農業

- ①本格的な訓練が始まった場合、騒音で牛がケガをして廃用となった場合の補償はどうなるのか。実際にことが起きる前にしっかりと決めていて欲しい。
- ②海上運賃の高騰は、全国的なことであるとは思いますが、航路における過剰な需要などにより高騰することも予想されるため、工事延長に伴い、今後も価格の高騰が考えられる。対象品目の見直しなどの補助メニューの拡充や輸送費自体の高騰を抑える対応など検討をして欲しい。
- ③工事延長に伴い今後ますます賃金が高騰したら経営を圧迫しかねない。
- ④人を雇用することができないため、休むことができない。
- ⑤現在、畜産業は経費が高騰しているなかで、収入源である、生乳がお金にならないということはとても深刻な問題である。工事延長に伴うこのような影響を早急に解決して欲しい。
- ⑥農業の人材確保が困難なことで、今後もさらに、経営に影響が出てくる。

## (4) 漁業

- ①漁業関係者、漁にでないため、漁価の高騰。
- ②漁業者は舟渡業と併用して漁業に従事している。
- ③延長に伴い、制限区域内の転石や調査を定期的に行えるよう、協議を重ね、漁場環境の管理が必要。

## (5) 林業

- ①港を利用した、島外移出時に必要な機材、港使用日の日程調整が工事開始前に比べ煩雑となり、通常業務に影響が出ている。
- ②人員の減少に伴い事業量も減少。施設の廃止、再編等。
- ③馬毛島工事関連業者が人材確保に動けば、さらに賃金格差は広がり、人材流出に歯止めは利かず、人員不足により事業継続が可能なのか先は見えない。
- ④島内在住労働者は、雇用条件の良い島外事業所に長く勤務することで工事期間終了後、島外へ転出する可能性が高い。

## (6) 商工業

- ①飲食店の売り上げは伸びてきている現状。キャッシュレス決済が増加している傾向にある。
- ②馬毛島建設工事に関連する経済的恩恵が偏りすぎだと思う。
- ③基地関係者が買い物をしてくれるようになると思う。

## (7) 医療

- ①今後、医療機関でのトラブルが増えるのではないかと懸念。対策が必要。
- ②健診のできる機会の確保（会社が実施する等）が必要と思われる。

## (8) 建設業

- ①地元公共事業についても、影響の出ないよう積極的に参加したい。
- ②再編交付金事業における道路事業の発注が少ない。

## (8) その他

- ①台風による停電に備え、今までは発電機を借りていたが、今年の台風の時に貸与しようとしても在庫がないといわれた。
- ②地元内工事や個人の修理など、人手が足りずに後回しにされている
- ③現時点において、工期延長に伴う問題は起きていない。むしろ歓迎している。
- ④仮設栈橋の設置により鹿児島本土から直で人流・物流が進展していくのではないかと。
- ⑤しょうがない部分もあるが、船が止まると物流の争奪戦が起こっている。
- ⑥会場（お店）を確保することが難しくなっている。

## 3 基地整備への不安

- ①工事の進捗状況がわからない。工事の進捗状況を市民に示してほしい。
- ②防衛省の工事と思っているが、滑走路や港湾関係は国交省が管轄することで、予算執行や工事内容の説明など各省に振られる。しっかりとした説明がなされていない。
- ③工事を監視する機能が必要。
- ④騒音レベルが90dBに達する単発騒音が種子島にどう影響するのか。誠実に回答してもらいたい。
- ⑤FCLP時、上空で待機している複数機の騒音は種子島にどう影響するのか。誠実に回答してもらいたい。
- ⑥馬毛島内陸部に生息する昆虫やウミガメへの光の害など、環境アセスの説明をしっかりとってもらいたい。
- ⑧住吉港、能野港から、馬毛島に送迎する際の船の騒音、出港時間の時差出港による騒音の減少、解消の要望。
- ⑧世界の恒久平和の確立に寄与することを目的としており、基地の拡大には反対します。
- ⑨防衛省に対して、市側から様々な内容を要望しているようであるが、説明不足が多く、誠意ある対応が見られない。

- ⑩現状がさらに続くと思えば、精神的にも苦痛が大きい。
- ⑪市民の食料購入も大きく影響している状況が続くことが気がかりである。
- ⑫馬毛島周辺は汚染されていないのか。
- ⑬物資不足になることが予想される。
- ⑭地元は置き去りにされている感じが強いが、工期終了を待つことしかできないのかと不安である。

#### **4 その他**

- ①馬毛島工事の関連に限らず、人口減少は労働者不足に深刻な状況を生みだしている。従来進めてきた事業の継続が厳しい。
- ②貨物フェリーが変わってから出荷量が減っている。出荷量を増やすことはできないか。
- ③セリで購入された子牛の出荷が遅れることにより、商品価値の低下も予想される。何とか対応ができないか。
- ④これからも値上げが続くと、購買者の減少につながり、それが市場価格の低迷につながると予想される。
- ⑤奄美流域で実施されている島外移出時の自己負担0%などの補助金拡充を要望。
- ⑥野原、山、畑がつぶされ、水不足になる心配がある。
- ⑦環境アセスの対象事業を第二種事業とするため、滑走路の長さをおさえたのではないか。第一種ですべきではないか。